1. 情報アクセス・コミュニケーション

ここまで来た！コミュニケーション支援システム

テレビ電話を使った様々な手話通訳サービス提供形態を検討し、どのような形での利用が手話通訳制度を補完し、ろう者の生活の向上につながるか、連盟でまとめた「テレビ電話を使った手話通訳サービスに対する指針について」を発表して１年過ぎました。現在、聴覚障害者に関わるコミュニケーション支援のシステムについて検討・開発が進められています。

ここでは最新の聴覚障害者向け電話リレーサービス、テレビ電話等のコミュニケーション支援システムの現況を学ぶとともに、手話通訳制度との切れ目のない連携について考え、聴覚障害者がいつでもどこでも情報にアクセスできる環境を考えます。

◆総合司会：一般財団法人全日本ろうあ連盟　理事
情報・コミュニケーション委員会　副委員長　　嶋本　恭規

◆基調講演
テーマ：「テレビ電話を使った手話通訳サービス
～手話通訳制度の発展につなげるために～（仮）」
講　師：一般財団法人全日本ろうあ連盟　　理　事
情報・コミュニケーション委員会　委員長　　中橋　道紀

◆講　演①
テーマ：「電話リレーサービス（仮）」
講　師：全国聴覚障害者情報提供施設協議会　メディア専門委員長　　小竹　安治

◆講　演②
テーマ：「遠隔手話通訳サービス～鳥取県の取り組みから～（仮）」
講　師：公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会　事務局長　　石橋　大吾